

資料 2

令和 2 年 3 月 23 日（月）

第 5 回佐倉市子育て支援推進委員会

根郷・和田・弥富区域と志津南部区域の民営化候補園についての分析**民営化で想定される状況について（根郷保育園と南志津保育園）**

| | 根郷保育園 | 南志津保育園 |
|------------------------------|---|---|
| 民営化後の利便性 | J R 佐倉駅付近から根郷保育園近隣には、同等の保育園用地（130人規模）が見込めず、駅から更に距離が離れる可能性が高く、在園児の90%を超える人数が根郷地区から通っているため、利便性が下がる可能性がある。 | 現在の南志津保育園は、住宅に囲まれており、駅からも遠く利便が良くないが、規模が小さいため、民営化後の新保育園は、利便が良い場所になる可能性が高い。 |
| 待機児童の状況 (H31.4.1) | 市内計 29 人のうち、根郷・和田・弥富地区の待機児童は、24 人。 | 志津南部区域の待機児童は 0 人 |
| 利用希望 | 根郷保育園は、南志津保育園より利用希望が多いため、より子育て家庭の意向と逆行する。 | 南志津保育園は、根郷保育園より利用希望が少ないため、民営化を実施した際の影響が小さい。 |
| 施設の 維持・修繕 | 根郷保育園を先に民営化する場合、南志津保育園の耐用年数が限界に来ており、維持が難しく、早急な改築が必要となる。 ※市予算(建築費)の確保が困難で早急な改築ができないおそれ。 | 南志津保育園を先に民営化する場合、根郷保育園の耐用年数に余裕があるため、15年程度は継続的な使用が可能。 ※改築するまでに、資金計画に余裕が持てる。 |
| 建物の 再利用 | 一般的な耐用年数まで 15 年程度余裕があるため、保育園として使用しなくなった場合に他の目的へ転用できる可能性がある。 | 一般的な耐用年数を 10 年経過しているため、再利用は難しい。 |

| | 根郷保育園 | 南志津保育園 |
|--------------|---|---|
| 民営化実施時の対象子ども | 南志津保育園と比べて入園児が多いため、転園となる子どもの数が多い。かつ、近隣施設で受け入れが可能な施設が少ない。 | 根郷保育園と比べて入園児が少ないため、転園となる子どもの数が少ない。 また、近隣施設での受け入れが可能な施設が多い。 |
| 近隣施設 | <ul style="list-style-type: none"> ● 陽の木さくら保育園 ※最も距離が近いが、常に定員を満たしており、民営化実施時の転園先として見込めない。 ● アンファンひのきさくら（小規模保育事業所） ※令和 2 年 4 月開園するが、3 歳未満の施設のため転園先として見込めない。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 志津わかば幼稚園 ※認定こども園に移行し、保育定員の創設 ● ウェルネス保育園佐倉 ※H29.4 開園：保育士が確保できれば定員拡大が可能な施設 |
| 応募事業者 | 定員が大きいため、公募しても民間事業者の提案が無い又は 1 事業者のみとなり、より良い保育事業者の選定が困難となる可能性がある。 | 定員が根郷保育園と比べて少ないことから、根郷保育園が民営化する場合と比べて、複数事業者から応募がある可能性がある。これにより、より良い保育事業者の選定が見込める。 |
| 他の公立園での受入 | 根郷保育園と南志津保育園は職員数がほぼ同じであり、民営化後の公立園での受入に差異はない。 根郷保育園：正規 14 人、非常勤 17 人 南志津保育園：正規 15 人、非常勤 13 人 | |
| 人口推移 | 入園児が最も多い大崎台は、微減であるが、次に多い寺崎北は、今後も増加傾向。 | 中志津は、大崎台と比べて大きく減少している。 |